

一生計費除剩あるもの	二二戸
除剩金額合計(月當り)	二四五八七〇
一生計費不足するもの	七一戸
不足金額合計	一八六一四五〇
一 収入相當するもの	一五戸
一 戸當り平均生活費	百八戸(家族合計四六九八)の家賃 食糧費 雑費等
の生計費を平均すれば次の如き結果が現はれて居ります	
一 戸當り平均生計費(家族四人三分強)	八、五五〇
一 家賃	三、八九〇
一 食糧費	二、四四三
一 雑費	六、八九三
合計	五、四〇一
一 差引不足高	四、九三三
一 差引不足高	四、九三三

然るに現在我々陶器工が費しつつある食糧費は僅にその半強に過ぎないのではありません。唯だといへどもその中に子女の教育費、町内の交際費、諸税金等を包括するものなる事を思へば、如何に我々現在の生活が質素なものであるものであるかは何人も想像に難くないと思ひます。

而も我々は斯の如き質素なる生活を爲す爲にも、尙約三割の収入不足に苦しみつゝある

陶器工諸君に急告す

諸君我等の生活は今や破滅の淵に臨んで居る、賃銀の底知らぬ底落は今や我等の職業を絶滅せしめ我等の妻子を餓死せしめんとして居る。作業系統の大改新と賃銀の値上げは刻下の急務である。我等は必死の決心を以て大正十二年の劈頭に此大事業を遂行せん事を決心した、陶器組合たる否を問はず同業同志の諸君は來りて共に起て!!

大會 順序

- 一 勞働生計調査報告
- 一 陶器工協議會
- 一 陶器組合顧問 荒谷宗治君

陶器工

のであります。此の事實を以て見ても、如何に我々の現在賃銀が安きに過ぎるかば明白な事でありませう。

我々は今や斯の如き嚴然たる事實に當面して、何等かの根本的改善策を講ずべく必死の努力を拂はんとするものであります。願くば大方の諸賢の御指導と御援助とを與へられん事を切に希望するものであります。

大正十二年一月